

分析結果一覧

実証実験評価項目	仕様・規格等	確認方法	項目	実験場所 ノド番号	視覚障害者				車椅子利用者				聴覚障害者					
					人数		実験 種別	結果	人数		実験 種別	結果	人数		実験 種別	結果		
					計画	実施			計画	実施			計画	実施				
1	使い勝手																	
1	システム（接続アダプタ+携帯電話）																	
	1 大きさ	大きさが適当であること	聞き取り調査。	5段階	聞取場所	30	28	S1-1	小型化が必要	30	44	T1-1	小型化が必要	30	13	C1-1	小型化が必要	
	2 重さ	重さが適正であること	聞き取り調査。	5段階		30	28	S1-1	軽量化が必要	30	44	T1-1	軽量化が必要	30	13	C1-1	軽量化が必要	
2	入力（スイッチ）																	
	1 位置	各スイッチが操作しやすい位置にあること	スイッチの位置が操作しやすい位置であるかについて、聞き取り調査。	5段階	聞取場所	30	28	S1-1	実験端末の仕様で適当	30	44	T1-1	実験端末の仕様で適当	30	13	C1-1	実験端末の仕様で適当	
	2 配置	スイッチの機能がわかりやすい配置になっていること	スイッチの配置に関し、機能ごとにわかりやすく配置されているかを聞き取り調査。	5段階		30	28	S1-1	実験端末の仕様で適当	30	44	T1-1	実験端末の仕様で適当	30	13	C1-1	実験端末の仕様で適当	
	3 色	弱視者等にはボタンが視認しやすいこと	弱視者がスイッチの色を見た時、わかりやすいかどうかを聞き取り調査。	5段階		弱視	4	S1-1	判定不可	0	0	-		0	0	-		
3	出力（音声）																	
	1 ｱﾀﾞﾌﾞﾀﾞ音量	手に持った位置で調整により音声が聞こえること	携帯端末をつり下げた状態及び手で持った状態で音声の大きさが妥当かどうかを確認する。聞き取り調査。	5段階	聞取場所	30	28	S1-1	実験端末の仕様で適当	30	44	T1-1	実験端末の仕様で適当	0	0	-		
	2 ｱﾀﾞﾌﾞﾀ音質	高い音及び低い音等が聞き難くないこと	携帯端末をつり下げた状態及び手で持った状態でFM音声又は赤外線音声が聞き取りやすいかどうかを確認する。聞き取り調査。	5段階		30	28	S1-1	改善が必要	30	44	T1-1	改善が必要	0	0	-		
	3 ルｽﾞｰﾌ音音量	メガネに装着したとき、音声が聞きやすいこと	H F 装置をメガネに装着した状態で、H F からの音声の大きさが妥当かどうかを聞き取り調査する。	5段階		30	28	S1-1	実験端末の仕様で適当	0	0	-		0	0	-		
	4 音声合成	音声合成による案内の聞き取り易さ	ｱﾀﾞﾌﾞﾀからの音声案内（音声合成）が聞き取りやすいかどうかを確認する。聞き取り調査。	5段階		30	28	S1-1	改善が必要	30	44	T1-1	改善が必要	0	0	-		
4	出力（表示）																	
	1 表示色	文字の色及び背景の色をわかりやすい色で表示	携帯電話に表示されている文字の色及び背景の色が見やすい色であるかの確認。聞き取り調査。	5段階	聞取場所	0	0	-		30	44	T1-1	実験端末の仕様で適当	30	13	C1-1	実験端末の仕様で適当	
	2 文字の大きさ	文字の大きさが、弱視者等に対応していること	携帯電話に表示されている文字の大きさが弱視者に対し見やすい大きさであるかの確認。聞き取り調査。	5段階		弱視	4	S1-1	実験端末の仕様より大きくする必要性あり	30	44	T1-1	実験端末の仕様より大きくする必要性あり	30	13	C1-1	実験端末の仕様より大きくする必要性あり	
	3 地図の回転	地図の回転表示は分りやすいか	地図表示で、方位対応の回転表示がわかりやすいかどうかの確認。聞き取り調査。	5段階		0	0	-		30		T5	判定不可	30	1	C1-1	判定不可	
	4 地物の描画表現	地図の地物情報の表示は分りやすいか	地図表示で、周辺案内の地物表示がわかりやすいかどうかの確認。聞き取り調査。	5段階		0	0	-		30	44	T1-1	実験端末の仕様で適当	30	13	C1-1	実験端末の仕様で適当	
5	出力（振動）																	
	1 経路誘導	経路誘導時の振動の必要性	経路誘導時の振動の必要性についての確認。	5段階	聞取場所	30	28	S1-1	必要である	30	44	T1-1	必要である	30	13	C1-1	必要である	
	2 注意喚起	注意喚起時の振動の必要性	注意喚起時の振動の必要性についての確認。	5段階		30	28	S1-1	必要である	30	44	T1-1	必要である	30	13	C1-1	必要である	
6	操作手順																	
	1 スｲｯﾁ+画面表示による運用	起動から出発地・目的地設定、経路誘導、終了までスｲｯﾁ操作手順が複雑でないこと	携帯端末を被験者に操作して頂く。聞き取り調査。	5段階	聞取場所	0	0	-		30	44	T1-2	実験端末の仕様で適当	30	13	C1-2	実験端末の仕様で適当	
		起動から出発地・目的地設定、経路誘導、終了までの画面表示が分りやすいこと	携帯端末を被験者に操作して頂く。聞き取り調査。	5段階		0	0	-		30	44	T1-2	実験端末の仕様で適当	30	13	C1-2	実験端末の仕様で適当	
		同じ目的地による繰り返し誘導がｽﾑｰｽﾞに行えること	携帯端末を被験者に操作して頂く。聞き取り調査。	5段階		0	0	-		30	0	T1-2	判定不可	30	1	C1-2	判定不可	
		経路途中でのやり直し操作がｽﾑｰｽﾞに行えること	携帯端末を被験者に操作して頂く。聞き取り調査。	5段階		0	0	-		30	44	T1-2	実験端末の仕様で適当	30	13	C1-2	実験端末の仕様で適当	
		次々操作から対応する画面の更新時間が適切であること	携帯端末を被験者に操作して頂く。聞き取り調査。	5段階		0	0	-		30	44	T1-2	実験端末の仕様で適当であるが、さらなる検証が必要	30	13	C1-2	実験端末の仕様で適当であるが、さらなる検証が必要	
	2 スｲｯﾁ+音声案内による運用	起動から出発地・目的地設定、経路誘導、終了までのスｲｯﾁ操作手順が複雑でないこと	携帯端末を被験者に操作して頂く。聞き取り調査。	5段階	聞取場所	30	28	S1-2	実験端末の仕様で適当	0	0	-		0	0	-		
		起動から出発地・目的地設定、経路誘導、終了までの音声案内が分りやすいこと	携帯端末を被験者に操作して頂く。聞き取り調査。	5段階		30	28	S1-2	実験端末の仕様で適当	0	0	-		0	0	-		
		同じ目的地による繰り返し誘導がｽﾑｰｽﾞに行えること	携帯端末を被験者に操作して頂く。聞き取り調査。	5段階		30	28	S1-2	実験端末の仕様で適当	0	0	-		0	0	-		
		経路途中でのやり直し操作がｽﾑｰｽﾞに行えること	携帯端末を被験者に操作して頂く。聞き取り調査。	5段階		30	28	S1-2	実験端末の仕様で適当	0	0	-		0	0	-		
		ｽﾁｯﾌﾟ方式項目選択における適切なｽﾁｯﾌﾟ時間確認	携帯端末を被験者に操作して頂く。聞き取り調査。	1秒 / 2秒		30	28	S1-2	1秒	0	0	-		0	0	-		
		次々操作から対応する音声案内までの時間が適切であること	携帯端末を被験者に操作して頂く。聞き取り調査。	5段階		30	28	S1-2	実験端末の仕様で適当	0	0	-		0	0	-		
7	既存システムとの比較																	
		既存システムを利用している被験者の本システムに対する使い勝手の確認。	使ったことがある被験者への使い勝手に対する聞き取り調査。	5段階	聞取場所	30	28	S1-2	実験端末の仕様で適当	0	0	-		0	0	-		
		既存システムを利用したことがない被験者の本システムでの使い勝手の確認。	使ったことがない被験者への使い勝手に対する聞き取り調査。	5段階		30	28	S1-2	実験端末の仕様で適当	0	0	-		0	0	-		

分析結果一覧

実証実験評価項目	仕様・規格等	確認方法	項目	実験場所 ノード番号	視覚障害者				車椅子利用者				聴覚障害者															
					人数		実験 種別	結果	人数		実験 種別	結果	人数		実験 種別	結果												
					計画	実施			計画	実施			計画	実施														
2 経路誘導情報																												
1 経路案内表現方法		「Xm直進です」 「Xm先を右折です」	RFIDによる経路誘導にて確認。	比較評価	日本広場	30	29	S2-1	・ 右に曲がってください ・ 左に曲がってください ・ まっすぐ進んでください という表現が良い。	0	0	-		0	0	-												
		「真直ぐ進んでください」 「Xm先を右に曲がってください」	RFIDによる経路誘導にて確認。			30	29	S2-1		0	0	-		0	0	-												
2 音声合成の聞きやすさ		標準スピードでの音声案内。 (女性の声)	標準スピードで男性の声が良いか、女性の声が良いか？ 女性の声での話す速度は速い方が良いか、遅い方が良いか。聞き取り調査。	比較評価	控え室	30	28	S2-2	女性の声が良い。 話す速度は速い方が良い。	30	39 (高齢者 含)	T2	女性の声が良い。 話す速度はどちらでも良い。	0	0	-												
		話すスピードを遅くした時の音声案内。 (女性の声)												0	0	-												
		男性の声での音声案内。												0	0	-												
3 周辺案内の有無		(例)「およそ何m先に郵便局があります。そこを右に 曲がってください」 「xx丁目、yy番地です。真直ぐ進んでください。 この近くにはzz銀行があります」	どの様な周辺案内があった方が良いか聞き取り調査。	自由回答	日本広場	30	29	S2-3	周辺案内は必要 必要最低限の公共施設及び利用 者の安全性を確保する情報が必 要	30	44 (高齢者 含)	T2	周辺案内は必要 公共施設等目印が必要	30	13	C2	周辺案内は必要 目印として公共施設、目的地と してトイレが必要											
3 注意喚起情報																												
1 危険箇所の事前告知																												
1 下り階段			下り階段の注意喚起提供距離の確認。 5m / 10m 選択	赤外線の出力を5m / 10mに設定し、比較評価。	5m / 10m 選択	30	22	S4-9-7	5m - 10mが良い。 行き先方向と、上り / 下りの案 内が良い。 ・ X X方向の上り階段です。 ・ X X方向の下り階段です。	0	0	-		0	0	-												
			1 RFID	障害物前の注意喚起提供距離の確認。	ブリッジ左側面に側溝を設定。障害物情報を受けて頂き、障害物に対する案内が必要かどうかの聞き取り調査を記録。												5段階評価	ブリッジ	30	16	S3-1-2-1	点字ブロックの経路上(体・杖 の触れる範囲)に存在する障害 物について告知を行なう。	0	0	-	0	0	-
			2 赤外線	障害物前の注意喚起提供距離の確認。 5m / 10m	赤外線の出力を5m / 10mに設定し、比較評価。												5m / 10m 選択		30	24	S3-1-2-2	案内は10mが良い 赤外線装置だけによる迂回案内 は不適切。但し障害物の存在案 内は有効	0	0	-	0	0	-
2 信号状態の案内		赤外線による信号状態案内の有効性	万博会場内に横断歩道を仮設置し、信号模擬を行い有効性の評価を行う。	体験のみ	30	59	S4-7-3	体験のみ	0	0	-		0	0	-													
3 段差あり		段差あり。車いす通行不可。	実験場所B(日本広場)にて段差ありを設定し、ルート案内を行い、有効性の確認。	5段階評価	0	0	-	-	30	34 (高齢者 含)	T3	迂回案内が必要	0	0	-													
4 案内内容																												
1 歩道(直進時)	1	RFID	10m / 20m / 30m間隔でのガイダンス確認。	RFIDで10m間隔でガイダンスを行う場合と20m、30m間隔でガイダンスを行う場合の比較評価。	候補選択	ブリッジ	30	6	S4-1-1	10m - 20mの間隔	0	0	-	0	0	-												
		赤外線	F1D1 音声が届かない領域を10m / 20mに設定し、案内がない場合の不安領域の調査。	赤外線情報が届かない領域を10m / 20mで体験させ、案内がないことによる不安領域を調査。	候補選択		30	27	S4-1-2	10m以下	0	0	-	0	0	-												
		赤外線	混雑時、発信機の設置ピッチを5m / 10m / 20mに設定した時の音声聞き取り調査。	混雑で受信の可能性が低い場合の適切な設置ピッチを確認する。	比較選択		30	27	S4-1-2	5m以下	0	0	-	0	0	-												
2 歩道(曲がり角)	1	RFID	曲がり角に対する情報提供の必要性評価。 30度、60度、90度	曲がり角としてガイダンスを行った方が良いかどうかの確認をする。	候補選択	ブリッジ	30	6	S4-2-1	2m手前及び曲がり角にて案内 を行うことが効果的 30度以上曲がっている場合には 曲がり角と見なすのが適切	0	0	-	0	0	-												
3 バス停	1	RFID	バス停前3m / 5m / 10mでの案内確認。	バス停前案内は3mが良いか、5m、10mが良いかの確認・評価。	5段階評価	ブリッジ	30	17	S4-3-1	いずれでも可	0	0	-	0	0	-												
		RFID	バス停における情報提供内容評価。	「前方5m先XXバス停があります」「XXバス停です。YY行とZZ行のバスを運行しています」…情報内容の確認。どういった案内が必要かの確認。	候補選択		30	17	S4-3-1	バス停名称、到着したバスの目的地	0	0	-	0	0	-												
		(1)FM受信 (2)FM送信	バス停前10m / 20mでの乗り場案内比較。	バス停前案内は10mが良いか20mが良いかの確認・評価。	比較調査		30	29	S4-3-3	10m	0	0	-	0	0	-												
		(1)FM受信 (2)FM送信	バス停前での案内内容確認。	「XXバス停があります」「YYバス乗り場はこちらです」…情報内容の確認。どういった案内が必要かの確認。	5段階評価		30	29	S4-3-3	報告書内、案内文例参照	0	0	-	0	0	-												
		赤外線	バス停前5m / 10m / 20mでの案内確認。	バス停前案内は5mが良いか、10m、20mが良いかの確認・評価。	比較調査		30	29	S4-3-5	10m	0	0	-	0	0	-												
		赤外線	バス停での案内情報(行先、時刻等)の有効性確認。	行先案内、時刻案内情報について、役に立つかどうかを評価する。	5段階評価		30	29	S4-3-5	行き先、時刻案内は必要 ・ 行きのバス停です。 ・ 次のバスは 時 分です。	0	0	-	0	0	-												

分析結果一覧

実験実験評価項目	仕様・規格等	確認方法	項目	実験場所 ノード番号	視覚障害者				車椅子利用者				聴覚障害者				
					人数		実験 種別	結果	人数		実験 種別	結果	人数		実験 種別	結果	
					計画	実施			計画	実施			計画	実施			
4 切符売場	1 RFID	切符売り場における情報提供内容評価。	が「グ」内容に関する調査。売り場に到着したときに必要な情報提供。乗り換えの際に必要な最小限度の情報内容は何かについて調査。	候補選択	IMTS 切符売場	30	27	S4-4-1	5m～10mで切符売場案内。	0	0	-	0	0	-		
		2 (1)FM受信 (2)FM送信	切符売り場前10m / 20mでの案内比較。	切符売り場前案内は10mが良いか20mが良いかの確認・評価。		比較調査	30	26	S4-4-2	10m	0	0	-	0	0	-	
	3 (1)FM受信 (2)FM送信	切符売り場での案内内容確認。	「切符売場はこちらです」「券売機はこちらです」……情報内容の確認。	5段階評価		30	26	S4-4-2	自動券売機、有人改札口	0	0	-	0	0	-		
	4 赤外線	切符売り場前5m / 10m / 20mでの案内比較。	切符売り場前案内は5mが良いか、10m、20mが良いかの確認・評価。	5段階評価		30	25	S4-4-4	10m	0	0	-	0	0	-		
	5 赤外線	切符売り場での案内内容確認。	「切符」音声による方向性の確認及び情報内容の確認。	5段階評価		30	25	S4-4-4	自動券売機、有人改札口	0	0	-	0	0	-		
5 分岐点	1 RFID	分岐点における予告サインの評価。10m / 5m / 3m前。	予告案内のサインの比較評価。	比較選択	ブリッジ	30	17	S4-5-1	5m手前	0	0	-	0	0	-		
		2 RFID	分岐点における領域情報提供内容評価。	分岐点における領域情報提供内容（どのようなランドマーク情報が必要か）の評価。		候補選択	30	17	S4-5-1	優先度1：分岐の形状・行き先などの情報 優先度2：ランドマークとして有効なトイレ、コンビニ、銀行	0	0	-	0	0	-	
	3 赤外線	1 誘導ブローカーあり	分岐点5m / 10m / 20m前からの案内比較。	分岐点5m / 10m / 20m前からの案内についての有効性比較評価。		5段階評価	30	29	S4-5-3-1	10m前後	0	0	-	0	0	-	
		2 誘導ブローカーなし	分岐点5m / 10m / 20m前からの案内比較。	分岐点5m / 10m / 20m前からの案内についての有効性比較評価。		5段階評価	30	24	S4-5-3-2	5m～10m	0	0	-	0	0	-	
	4 赤外線	1 誘導ブローカーあり	分岐点手前からの案内内容評価。	分岐点手前での案内についての内容評価。		5段階評価	30	29	S4-5-3-1	明確な距離案内は出さない。	0	0	-	0	0	-	
		2 誘導ブローカーなし	分岐点手前からの案内内容評価。	分岐点手前での案内についての内容評価。		5段階評価	30	24	S4-5-3-2	分岐点手前2m程度で行う。明確な距離案内は出さない。	0	0	-	0	0	-	
	6 施設出入口	1 RFID	施設出入口における予告サインの評価。10m / 5m / 3m前。	予告案内のサインの比較評価。		候補選択	ブリッジ	30	16	S4-6-1	10mから5m	0	0	-	0	0	-
			2 RFID	施設出入口における情報提供内容評価。		ガイダンス内容に関する調査。到着した際に必要な情報はなにかの確認。		候補選択	30	16	S4-6-1	目的地：施設名称・案内をうけることのできる場所の情報 通過点：出入口の形状、段差	0	0	-	0	0
3 FM受信		FM受信距離を10m / 20mに設定し、有効性の確認。	施設出入口の10m / 20m前での音声案内についての比較評価。	比較調査	30	24		S4-6-3	10～20m	0	0	-	0	0	-		
4 FM受信		施設出入口での案内内容(FM受信)の確認。	施設出入口での音声案内内容の確認・評価。	5段階評価	30	24		S4-6-3	報告書内、案内文例参照	0	0	-	0	0	-		
5 FM送信		FM送信距離10m / 20mでのスピーカ鳴動の比較評価。	施設出入口10m / 20m前での音声案内についての比較評価。	比較調査	30	24		S4-6-3	10～20m	0	0	-	0	0	-		
6 FM送信		施設出入口での案内内容(スピーカ鳴動)の確認。	施設出入口での音声案内内容の確認・評価。	5段階評価	30	24		S4-6-3	報告書内、案内文例参照	0	0	-	0	0	-		
7 赤外線		施設出入口5m / 10m / 20m前からの案内比較。	施設出入口5m / 10m / 20m前からの案内についての有効性比較評価。	5段階評価	30	24		S4-6-7	10～20m	0	0	-	0	0	-		
8 赤外線		施設出入口手前からの案内内容評価。	施設出入口手前での案内についての内容評価。	5段階評価	30	24		S4-6-7	位置、入口前の案内が必要	0	0	-	0	0	-		
7 横断歩道	1 RFID	横断歩道における情報内容評価。	案内はどのくらい手前から行うのが良いか。どのような情報が必要か。	5段階評価	日本広場	30	17	S4-7-1	10m程度手前 信号の有無、横断歩道の長さ、歩行者信号情報	0	0	-	0	0	-		
		2 FM	接近報知機能の確認。	体験のみ		体験のみ	30	59	S4-7-2	体験のみ	0	0	-	0	0	-	
		3 赤外線	横断歩道において、信号状態提供の有効性評価。			体験のみ	30	59	S4-7-3	体験のみ	0	0	-	0	0	-	
8 トイレ	1 RFID	トイレにおける予告サインの評価。10m / 5m / 3m前。	予告案内のサインの比較評価。	候補選択	ブリッジ	30	17	S4-8-1	5m手前	0	0	-	0	0	-		
		2 RFID	トイレにおける情報提供内容評価。	ガイダンス内容に関する調査。到着した際に必要な情報はなにかの確認。		候補選択	30	17	S4-8-1	優先度1：男子・女子および障害者トイレの位置 優先度2：トイレ内の便器の場所・レバーやペーパーの場所などレイアウト等（触地図）	0	0	-	0	0	-	
	3 FM受信	FM受信距離を10m / 20mに設定し、有効性の確認。	トイレの10m / 20m前での音声案内についての比較評価。	比較調査	トイレ	30	29	S4-8-3	10m	0	0	-	0	0	-		
	4 FM受信	トイレでの案内内容(FM受信)の確認。	トイレでの音声案内内容の確認・評価。	5段階評価		30	29	S4-8-3	報告書内、案内文例参照	0	0	-	0	0	-		
	5 FM送信	FM送信距離10m / 20mでのスピーカ鳴動の比較評価。	トイレ10m / 20m前での音声案内についての比較評価。	比較調査		30	29	S4-8-3	10m	0	0	-	0	0	-		
	6 FM送信	トイレでの案内内容(スピーカ鳴動)の確認。	トイレでの音声案内内容の確認・評価。	5段階評価		30	29	S4-8-3	報告書内、案内文例参照	0	0	-	0	0	-		
	7 赤外線	トイレ5m / 10m / 20m前からの案内比較。	トイレ5m / 10m / 20m前からの案内についての有効性比較評価。	5段階評価		30	28	S4-8-7	10m前後	0	0	-	0	0	-		
	8 赤外線	トイレ手前からの案内内容評価。	トイレ手前での案内についての内容評価。	5段階評価		30	28	S4-8-7	簡潔な案内が良い	0	0	-	0	0	-		
	9 赤外線	男女別トイレに対し、案内を男女別音声で行った場合のわかりやすさの確認。	男女別トイレに対し男女別音声で案内した場合のわかりやすさの確認・評価。	5段階評価		30	28	S4-8-7	男女別は有効	0	0	-	0	0	-		

分析結果一覧

実証実験評価項目	仕 様 ・ 規 格 等	確認方法	項目	実験場所 ノド 番号	視覚障害者				車椅子利用者				聴覚障害者			
					人数		実験 種別	結果	人数		実験 種別	結果	人数		実験 種別	結果
					計画	実施			計画	実施			計画	実施		
9 階段	1 RFID	階段における予告タイミング評価。10m / 5m / 3m前。	予告案内のタイミングの比較評価。	候補選択	ブリッジ	30	17	S4-9-1	5から3m程度とピンポイント	0	0	-	0	0	-	
	2 RFID	階段における情報提供内容評価。	ガイダンス内容に関する調査。到着した際に必要な情報の確認。	候補選択		30	17	S4-9-1	上り・下りの別は必要で、そのほかに踊り場の有無・ひろさ、階段の行き先	0	0	-	0	0	-	
	3 FM受信	FM受信距離を10m / 20mに設定し、有効性の確認。	階段の10m / 20m前での音声案内についての比較評価。	比較調査		30	30	S4-9-3	5m	0	0	-	0	0	-	
	4 FM受信	階段での案内内容(FM受信)の確認。	階段での音声案内内容の確認・評価。	5段階評価		30	30	S4-9-3	上り / 下りの案内	0	0	-	0	0	-	
	5 FM送信	FM送信距離10m / 20mでのスピーカ鳴動の比較評価。	階段10m / 20m前での音声案内についての比較評価。	比較調査		30	24	S4-9-3	5-10m	0	0	-	0	0	-	
	6 FM送信	階段での案内内容(スピーカ鳴動)の確認。	階段での音声案内内容の確認・評価。	5段階評価		30	24	S4-9-3	報告書内、案内文例参照	0	0	-	0	0	-	
	7 赤外線	階段5m / 10m / 20m前からの案内比較。	階段5m / 10m / 20m前からの案内についての有効性比較評価。	5段階評価		30	22	S4-9-7	5-10m	0	0	-	0	0	-	
	8 赤外線	階段手前からの案内内容評価。	階段手前での案内についての内容評価。	5段階評価		30	22	S4-9-7	xx方向の上り(下り)階段ですが良い	0	0	-	0	0	-	
10 エレベータ	1 RFID	エレベータにおける予告タイミング評価。10m / 5m / 3m前。	予告案内のタイミングの比較評価を聞き取り調査する。	候補選択	ブリッジ	30	22	S4-10-1	5m	0	0	-	0	0	-	
	2 RFID	エレベータにおける情報提供内容評価。	ガイダンス内容に関する調査。到着した際に必要な情報はなにかを聞き取り調査。	候補選択		30	17	S4-10-1	上り、下りの種別、稼働台数そして、現在の階にエレベータがいるか(どのエレベータが次に到着するか)	0	0	-	0	0	-	
	3 FM受信	FM受信距離を10m / 20mに設定し、有効性の確認。	エレベータの10m / 20m前での音声案内についての比較評価。	比較調査		30	28	S4-10-3	5m-10m	0	0	-	0	0	-	
	4 FM受信	エレベータでの案内内容(FM受信)の確認。	エレベータでの音声案内内容の確認・評価。	5段階評価		30	28	S4-10-3	報告書内、案内文例参照	0	0	-	0	0	-	
	5 FM送信	FM送信距離10m / 20mでのスピーカ鳴動の比較評価。	エレベータ10m / 20m前での音声案内についての比較評価。	比較調査		30	24	S4-10-3	5-10m	0	0	-	0	0	-	
	6 FM送信	エレベータでの案内内容(スピーカ鳴動)の確認。	エレベータでの音声案内内容の確認・評価。	5段階評価		30	24	S4-10-3	報告書内、案内文例参照	0	0	-	0	0	-	
	7 赤外線	エレベータ5m / 10m / 20m前からの案内比較。	エレベータ5m / 10m / 20m前からの案内についての有効性比較評価。	5段階評価		30	23	S4-10-7	5-10m	0	0	-	0	0	-	
	8 赤外線	エレベータ手前からの案内内容評価。	エレベータ手前での案内についての内容評価。	5段階評価		30	23	S4-10-7	入口位置案内が必要	0	0	-	0	0	-	
11 移動体乗降口	1 FM	バスが接近したときの案内の有効性確認。無線通信距離を20m / 10mでの評価。	バスに送信機を搭載し、接近してきた時に案内が聞こえることの有効性確認。20mの場合と10mの場合について評価。	比較調査	駐車場	20	24	S4-11-1	20m-30m	0	0	-	0	0	-	
	2 赤外線	バスの乗車口の案内評価。	バスの乗車口を赤外線で案内し、その有効性について評価。	5段階評価		20	24	S4-11-1	有効。	0	0	-	0	0	-	
12 受付	1 RFID	受付における予告タイミング評価。10m / 5m / 3m前。	予告案内のタイミングの比較評価。	6項で評価				6項で評価	0	0	-	0	0	-		
	2 RFID	受付における情報提供内容評価。	ガイダンス内容に関する調査。到着した際に必要な情報はなにかの確認。						0	0	-	0	0	-		
	3 FM受信	FM受信距離を10m / 20mに設定し、有効性の確認。	受付の10m / 20m前での音声案内についての比較評価。						0	0	-	0	0	-		
	4 FM受信	受付での案内内容(FM受信)の確認。	受付での音声案内内容の確認・評価。						0	0	-	0	0	-		
	5 FM送信	FM送信距離10m / 20mでのスピーカ鳴動の比較評価。	受付10m / 20m前での音声案内についての比較評価。						0	0	-	0	0	-		
	6 FM送信	受付での案内内容(スピーカ鳴動)の確認。	受付での音声案内内容の確認・評価。						0	0	-	0	0	-		
	7 赤外線	受付5m / 10m / 20m前からの案内比較。	受付5m / 10m / 20m前からの案内についての有効性比較評価。						0	0	-	0	0	-		
	8 赤外線	受付手前からの案内内容評価。	受付手前での案内についての内容評価。						0	0	-	0	0	-		
13 スロープ	1 RFID	スロープ手前が必要な情報確認	ガイダンス内容に関する調査。スロープにおいて必要な情報はなにかの確認。	候補選択	日本広場	30	18	S4-13-1	上り・下りの種別、スロープの長さ、踊り場の有無、5m手前	0	0	-	0	0	-	

分析結果一覧

実証実験評価項目	仕様・規格等	確認方法	項目	実験場所 / 埠 番号	視覚障害者				車椅子利用者				聴覚障害者			
					人数		実験 種別	結果	人数		実験 種別	結果	人数		実験 種別	結果
					計画	実施			計画	実施			計画	実施		
5 システム確認 (組み合わせ)																
1 RFIDのみ																
1 誘導案内の確認	RFIDのみで目的地まで誘導した場合の確認。	RFIDのみを有効にし、ブリッジ入口から日本政府館までの誘導を行い、評価する。	到達可否	ブリッジ-日本政府館	30	29	S5-1-1	29人中27人到達(1回目:20人、2回目:4人、3回目:3人)	0	0	-		0	0	-	
2 赤外線のみ																
1 誘導案内の確認	1 誘導ブロック有り	誘導ブロック有りの状態で、赤外線のみで目的地まで誘導した場合の確認。	到達可否	ブリッジ-日本政府館	30	29	S5-2-1	29人中26人到達(1回目:20人、2回目:3人、3回目:3人)	0	0	-		0	0	-	
	2 誘導ブロック無し	誘導ブロック無し状態で、赤外線のみで目的地まで誘導した場合の確認。	到達可否	ブリッジ-日本政府館	30	24	S5-2-1-2	24人中20人到達(1回目:16人、2回目:2人、3回目:2人)	0	0	-	30	13	C4	13人中12人到達(1回目:9人、2回目:3人、3回目:0人)	
2 多人数利用時	多人数利用時の利用阻害要因の有無(30人同時に使用した場合)の確認。	日本広場で多人数が同時にシステムを利用した場合の、阻害要因を調査・評価する。(雑音・遮断・反射等の影響)	原因記録	日本政府館前	60	59	S5-2-2	遮断・反射の影響があり回避動作が必要	0	0	-		0	0	-	
3 RFID + FM																
1 誘導案内の確認	誘導ブロック有りの状態で、RFID + FMで目的地まで誘導した場合の確認。	誘導ブロック有り、RFID + FMを有効にし、ブリッジ入口から日本政府館までの誘導を行い、評価する。	到達可否	ブリッジ-日本政府館	30	21	S5-3-1	21人中21人到達(1回目:11人、2回目:6人、3回目:3人、5回目:1人)	0	0	-		0	0	-	
4 赤外線 + FM																
1 誘導案内の確認	誘導ブロック無し状態で、赤外線 + FMで目的地まで誘導した場合の確認。	誘導ブロック無し、赤外線 + FMを有効にし、ブリッジ入口から日本政府館までの誘導を行い、評価する。	到達可否	ブリッジ-日本政府館	30	24	S5-4-1	24人中24人到達(1回目:18人、2回目:5人、3回目:1人)	30	23	T5	23人中22人到達(1回目:17人、2回目:3人、3回目:2人)	0	0	-	
5 RFID + 赤外線 + FM																
1 誘導案内の確認	誘導ブロック有りの状態で、RFID + 赤外線 + FMで目的地まで誘導した場合の確認。	誘導ブロック有り、RFID + 赤外線 + FMを有効にし、ブリッジ入口から日本政府館までの誘導を行い、評価する。	到達可否	ブリッジ-日本政府館	30	29	S5-5-1	29人中28人到達(1回目:24人、2回目:1人、3回目:2人)	0	0	-		0	0	-	